

編集後記

「竹を割ったような」というと、鮮やかな緑色をまとった真っ直ぐな竹がスパーンと真っ二つに割れ、清新な白い内側が現れてきたようなとても清々しいイメージをもつことでしょう。ですから、この言葉はとてもよい意味として使われています。人に対しても事物に対しても、それにふさわしい場合に、皆さんは実際に竹を割られたことはありますか？一度やってみられるとわかりますが、本当にスパーンと気持ちよく割れます。縦に、あんな長さのものが一気に割れるとは、と驚かれると思います。でも、気持ちいいですよ。軽い手応えを残して、一気にパーンといきます。香りもとてもいいです。特に、瑞々しい若い竹を割るととても爽やかです。内側の白い小部屋達もいいですね。かぐや姫が木の洞ではなくて、竹の中にいたことも納得です。とても清潔な空間で清廉なイメージにピッタリです。春の筍堀り、夏のそうめん流しなど大活躍ですが、1日に1mも成長するその驚異的な成長率から、既存の植生を破壊するこ

とも指摘されています。パンダにとっては好ましい状況でしょうが、人にとっては付き合いかたを考えるべき生物といえますね。竹といえば発明家のエジソン氏が白熱電球のフィラメントとして、京都の石清水八幡宮の真竹を利用したという話もお聞きになられたことがあるでしょう。日本人としてちょっとくすぐられる話です。プラズマ実験関係者としては、フィラメントとか真空とかと聞くと、ちょっとやってみようかなと思われるのではないのでしょうか。科学教室にもいいですね。炎とか光るものとかおとなもですが子供は大好きですから。そんなところから将来の大科学者の芽が出てきて、立派に育つかも知れません。何の保証もありませんが、竹の子のように一気にグイッと育つこともあれば、地下茎のように地盤を広く固めて思いがけない所からボンッと出てくるかもしれません。これはキタイを込めた研究の話です。竹のように、百年に一度の花を咲かせてから枯れたいものです。(徳沢季彦)

プラズマ・核融合学会役員

| | | | | |
|------|---|--|---|------------------|
| 会 長 | 小森 彰夫 | 副 会 長 | 永津 雅章(推薦委員長:研究助成,男女共同参画委員長) | 吉田 善章(推薦委員長:学会賞) |
| 常務理事 | 室賀 健夫(総務委員長) | | | |
| 理 事 | 浅野 克彦 内野喜一郎 草間 義紀(広報委員長) 白神 宏之(支部・地区研究連絡会委員長) 波多野雄治 | 安藤 晃 小野 靖 久保 博孝 白谷 正治(研究部会連絡委員長) 福山 淳(年会運営委員長) | 上田 良夫 甲斐 俊也(財務委員長) 佐々木浩一(企画委員長) 豊田 浩孝(編集委員長) | |
| 監 事 | 市村 真 森田 純子 | | | |

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ:豊田浩孝(名大) 副委員長:波多野雄治(富山大)

エディタ:金子俊郎(東北大),坂本瑞樹(筑波大),中村祐司(京大),長友英夫(阪大),小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員:安堂正己(原子力機構),石澤明宏(核融合研),稲垣 滋(九大),太田貴之(名城大),大西直文(東北大),小田昭紀(千葉工大),小田卓司(ソウル国立大),陰山 聡(神戸大),加道雅孝(原子力機構),川崎仁晴(佐世保高専),齋藤和史(宇都宮大),清水昭博(核融合研),白石裕之(大同大),須田善行(豊橋技科大),高橋俊樹(群馬大),近田拓未(静岡大),仲野友英(原子力機構),沼田龍介(兵庫県立大),比村治彦(京都工繊大),松岡彩子(JAXA),宮澤順一(核融合研),森 芳孝(光産業創成大学院大),森本泰臣(日揮),八木重郎(核融合研),八柳祐一(静岡大),山本 聡(京大),余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第91巻第8号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2015年(平成27年)8月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。